

日本女性会議2007ひろしま 市民参加報告書

『一人ひとり 響きあって いま そして未来へ』をテーマに平成19年10月19・20日に広島市で開かれた日本女性会議へ大分市民2名を派遣いたしました。

参加者は国際平和文化都市ヒロシマより発信された平和への多くの思いを受け止めるとともに、福祉・環境・子育て・教育・平和といった多彩なテーマで開催された分科会で学習しました。

■ 報告者 ヴィー（男女共生を考える会） 藤崎 薫さん

【分科会テーマ】〈就労・働き方〉

CSR(企業の社会的責任)とSRI(社会的責任投資)ーワーク・ライフ・バランスの観点からー

基調講演 NPO法人「女性と仕事研究所」代表理事 金谷 千慧子さん

日本でも企業に不正の回避、地球環境・社会への貢献、従業員の働きやすい環境や情報公開などの社会的責任（CSR）が求められるようになってきている。

女性を積極的に登用した企業は成果を上げている。社会的責任を果たしている企業に投資する（SRI）ことは企業の姿勢を変え、職場での男女平等を躍進させるなど、社会を変え、より良い未来をつくることができると確信している。

シンポジウム

- ・ パネラーからワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の取り組みなどが紹介された。
- ・ 人材の育成、仕事と家庭の両立、長時間労働の解消や柔軟な働き方の採用などを進めている。
- ・ 残業がなく、夕食は家族みんなで食べるのを前提とするような基本的な働き方（ワーク・ライフ・バランス）となるように進めたい。
- ・ 初めて就職した時、育児中で、外資系企業の採用しかなかったが、外資系企業の発言は「あなたに何ができるかであって、結婚しているとか、子どもがいるとかは問題ではない」であった。

▽どうしたら男たちの働き方（長時間労働）を変えて男女共同参画社会の実現ができるかというテーマを持って参加しましたが、この分科会でヒントを得ました。

企業へのCSRの働きかけかたなど を考えてみたいと思いました。

■ 報告者 大分市商店街女性部 長野 栄子さん

【分科会テーマ】〈地球環境〉

病みつつある地球、犠牲になるのは誰か～環境問題は貧困問題・女性問題～

基調講演 シニアライフアドバイザー 小林 きみ子さん

五大陸の秀峰をめぐる体験から「病みつつある地球」の実態が見え、「貧困問題」「女性問題」がそこに繋がっていることを感じた。地球に迫る環境悪化という兵器により世界地図が変わる前に私たちは何ができるのか、何をしないといけないのか。

トークセッション

パネラーからのダイオキシンの発生源についての説明はこれまでの自分の認識と違い驚きました。またワークショップで「黒鉛と食品汚染」について発言したところ関心を持っていただき活動の輪が広がりました。



藤崎薫さん 長野栄子さん